

栗山町における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

栗山町地域公共交通総合連携計画の目標

- (1) 町民とともに歩む交通運営システム
- (2) 町民が安心して暮らせる交通システム
- (3) シルバー社会に対する交通システム
- (4) 地域社会と連携した交通システム
- (5) 他の交通機関と連携した交通システム

平成23年度総合事業計画の概要

利用促進・調査研究
バス待合所機能導入等の実証
バス停留所の見直し・整備



実証運行中(単独費)のデマンドバス(滝下線)



整備前



整備後

バス停留所標識整備(阿野呂会館前)

栗山町地域公共交通活性化協議会開催状況

平成23年6月7日 平成23年度第1回協議会開催

- (1) 平成22年度事業報告について
- (2) 平成22年度収支決算について
- (3) 平成23年度事業計画について
- (4) 平成23年度収支予算について

平成23年9月8日 平成23年度第2回協議会開催(書面)

- (1) 栗山町営バスの更新登録について

平成24年2月(予定)平成23年度第3回協議会開催

- (1) 町営バス見直し方針について

23年度事業の実施状況

< 利用促進・調査研究 >

単独費によるデマンドバス実証運行を継続し、利用促進や更なる改善点の調査研究を実施した。

滝下線及び日出線のデマンド運行に係る課題として、乗継による不便の解消、バスの小型化等による更なる効率性について調査研究を実施、新年度からの見直し方針(本格運行)を策定した。

< バス待合所機能導入等の実証 >

商店街等の既存施設によるバス待合所の継続的設置による地域のバス運行への理解と利用者の利便性向上に努めた。

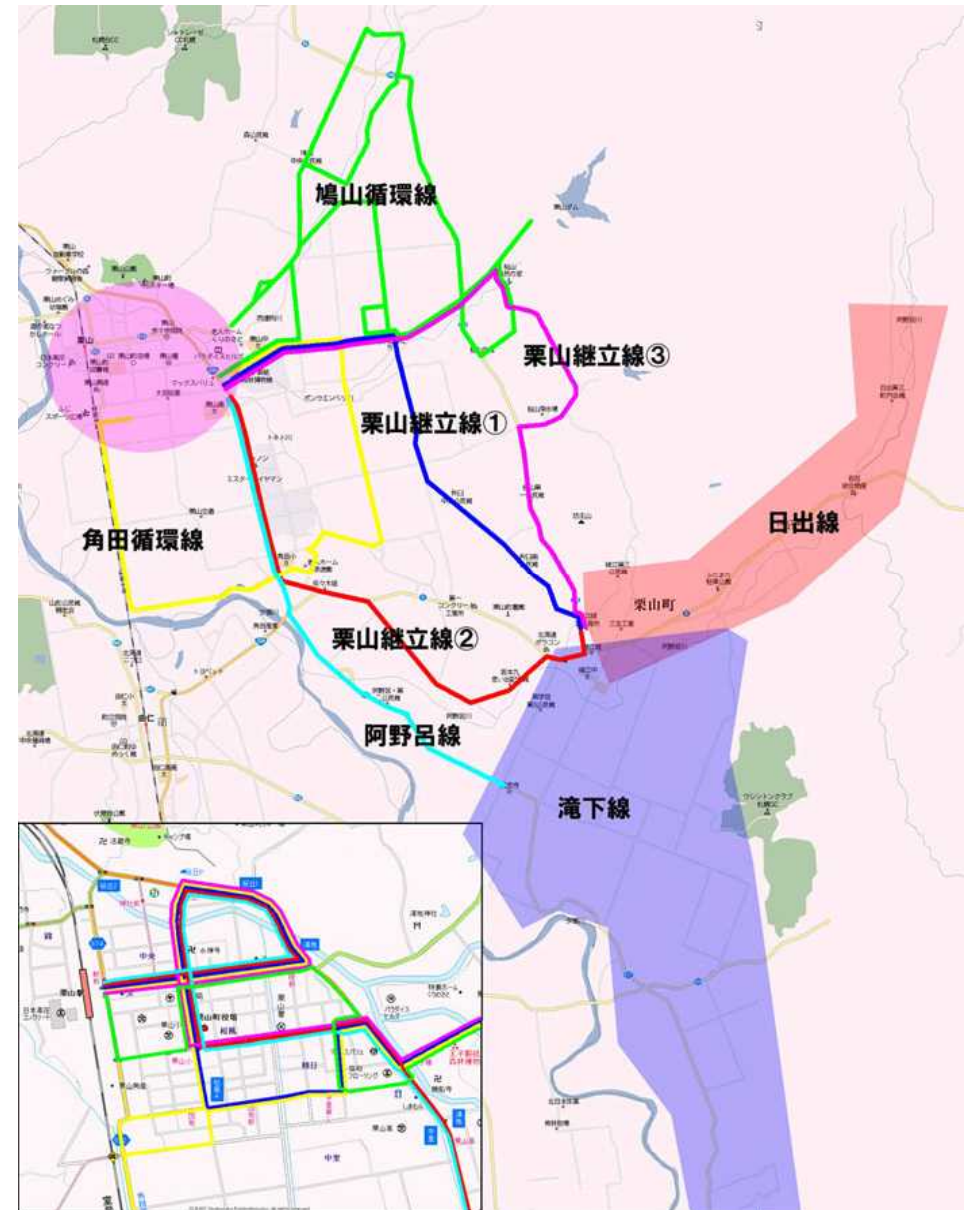
まちの駅栗夢プラザ及び南部公民館への待合所の継続設置による常設化を図った。

< バス停留所の見直し・整備 >

バス停留所標識の整備により、利用者の利便性と継続的運行にかかる整備を図った。

町営バス路線のバス停留所標識35基の整備を図った。

運行ルート図



事業実施効果

< 利用促進・調査研究 >

デマンドバス運行等にかかる適正な運行体系などについて、引き続き調査研究を実施し、今後の継続的、安定的な本格運行(運営)に向けた調査、検証が行われ、新年度からの見直し方針が策定された。

< バス待合所機能導入等の実証 >

商店街等の既存施設によるバス待合所の継続的設置による地域のバス運行への理解と利用者の利便性向上が図られた。

< バス停留所の見直し・整備 >

バス停留所標識の整備により、利用者のサービス向上とバス運行の継続的運行にかかる整備が図られた。

今後の課題

町営バスの見直し方針による、新年度からのデマンドバスの本格運行が行われる見込みであるが、運行経費や運行体系の更なる改善が必要であり、時代とニーズにあったバス運行を目指し、引き続き調査研究を実施する必要がある。

自己評価のポイント

- ・デマンドバス運行等に係る適正な運営・運行体系などについて調査研究を実施し、平成24年度からの見直し方針に基づく本格運行実施予定に至った。
- ・利用者へのサービス向上とバスの継続的運行を図るため、停留所標識の整備を行った。

二次評価のポイント

自己評価のとおり。
本格実施にあたり、引き続き地域のニーズを把握し、広く周知を行って利用者定着を図るとともに、持続性を考慮した取り組みを期待する。